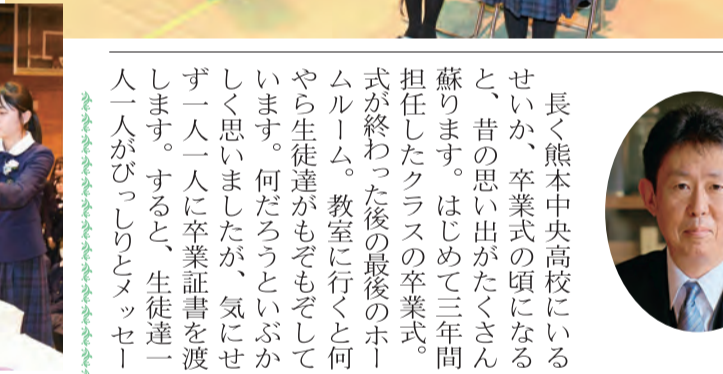


祝卒業証書授与式

2月27日：普通科152名 総合ビジネス科37名 看護科53名 計242名



希望

第 139 号

発行所

〒860-8558 熊本中央区内坪井町4番8号

熊本中央高等学校

後援会(保護者会)広報委員会

TEL 096(354)2333

FAX 096(356)6279

印刷 かもめ印刷 279-3440

三十八枚のエール

校長 塩田 顕一郎



長く熊本中央高校にいる
せいか、卒業式の頃になる
と、昔の思い出がたくさん
蘇ります。はじめて三年間
担任したクラスの卒業式。
式が終わった後の最後のホー
ムルーム。教室に行くど何
やら生徒達もももそそと
います。何だろうといふか
しく思いましたが、気にせ
ず一人一人に卒業証書を渡
します。すると、生徒達一
人一人がびしりとメッセー

ジの書かれたA4判の紙を
卒業証書と交換に渡してく
れました。内容は「感謝」
とか「お世話になりました」
ではありません。「先生、
がんばらないでください」
とか「先生、もっとしっか
り」といったものばかり
笑。それは生徒達からの敵
しくも温かいエールでした。
卒業生三十八名。教師とし
ての力がなく、うまくクラ
スをまとめられなかった当
時のわたし。精神的にも弱
かったわたし。でも、たく
さん苦労してきたそんなわ
たしのことをクラスの生徒
達は応援してくれていたん
だな、としみりと嬉しく

祝辞

後援会会長

森

裕智



卒業生の皆さん、ご卒業
おめでとうございます。後
援会を代表し、心から祝意
を表します。
そして今日まで、深い愛
情をもって支えてこられた
保護者の皆様、日々教育の
現場に立ち続けてこられた
先生方、心より敬意と感
謝を申し上げます。

皆さんがこの学び舎で過
ごした時間は、決して平坦
なものばかりではなかった
はずですが、思うようにい
かなかった日、悔しさに涙し
た瞬間、自分の未熟さと向
き合った経験―それらす
べてが、今の皆さんを形
づけています。成功より
も、むしろそうした時間
こそ、人を強くし、優しく
します。

これから先の人生に、用
意された正解はありません。
進学、就職、どの道を選ん
だとしても、不安や迷いは
必ず訪れます。しかし、こ
こで培った「考える力」
「挑戦する勇氣」「人と向き
合う姿勢」は、どんな時代
においても皆さんを支える
確かな土台となるでしょう。
どうか自分の可能性を、
自分自身が一番信じてくだ
さい。皆さん一人ひとりの
歩みが、やがて社会を支え
る光となることを、私たち
は確信しています。

令和7年度
卒業記念品
体育館緞帳

● 給費式 ●
二月四日に後援会給費
式が行われました。
本年度は六名の生徒が
給費生として選ばれ、当
日は後援会会長より給費
金が授与されました。

同窓会
入会式
2月27日同窓会入会式
が行われ、令和7年度
卒業生(242名)が同
窓会に入会されました。



3年生 創作ダンス 発表会 12月11日

優勝：7組 2班
2位：6組 2班
3位：9組 1班



3年生



クラスマッチ 12月18日 ～バレーボール大会～

1年女子優勝：1組 2年女子優勝：3組
3年女子優勝：10組 男子優勝：2年3組



2年生



1年生



3年生を送る会 1月26日



編集後記
この一年、広報委員長として
活動する中で、学校の魅力を発
信することの難しさとやりがい
を強く感じました。行事や日常
の様子を伝えるためには、一人
では決して成り立たず、広報委
員一人ひとりの主体的な関わり
があってこそ実現できたと思
っています。忙しい中でも話し
合いや原稿作成、写真撮影に真
摯に向き合ってくれた委員の皆
さんには、心から感謝していま
す。試行錯誤を重ねながら共に
考え、形にしてきた経験は、学
校の広報活動の枠を超えた大き
な学びとなりました。この経験
が次の世代へと受け継がれ、よ
り良い広報活動へとつながって
いくことを願っています。
(広報委員長 溝上恵子)



テーブルマナー

1月27日